

5. コロンビアの体質 3

天理教コロンビア出張所長
清水 直太郎 Naotaro Shimizu

4) アマゾン地域と先住民 1

アマゾンと言えばブラジルの「専売特許」と思われがちであるが、南米のほとんどの国にアマゾン地域が存在する。ペルーでは国土の62%、エクアドルでは51%、ボリビアは43%、その他ベネズエラにも「アマゾン州」がある。コロンビアでは、国際政治上及び人類学的視点から見て、アマゾン地域は大変重要な地域という位置づけである。そうした点をも含み、今回はアマゾン地域のみを解説したい。

まず、アマゾン地域は地域中で一番広い面積を占め(コロンビア全体の面積の約40%)⁽¹⁾、そのために複数の隣国と国境を接していることとなる。東部はベネズエラ、南西部はブラジル、南部はペルー、南東部はエクアドルである。

アマゾン地域には、アマゾナス県、カケタ県、グアイニア県、グアビアレ県、プトゥマヨ県、とバウベス県の6つの行政県がある。

*自然・気候

「アマゾン」という言葉ですでに「熱帯」を想像してしまうし、その通りである。しかしながら、気温は24度~27度の間でそれほど(昨今の日本と比べると)高くない。ただ、雨がよく降る地域であり、年平均2,000~3,000mmの降水量がある⁽²⁾。ちなみに日本は平均して約1,800mmである。

*歴史：領土戦争

なぜアマゾン地域が国際政治に関係するかと言えば、アマゾン地域は前述したように南米4カ国との国境と接しているからで、領土の問題が常に存在しているからである。その中でも、独立時期の19世紀はじめから近年まで続いていたのがペルーとの国境問題であった。

1933年に「コロンビア・ペルー戦争」が勃発している。約1年間ほど戦いが続き、結局以前の1922年にサロモン=ロサーノ協定(ペルーとコロンビアの両全権大使の名前)が、1934年にリオデジャネイロで再批准され、その戦争は一応決着となった⁽³⁾。

*人口

人口の一番少ない地域では、6つの県を合わせても約27万人⁽⁴⁾の総人口しかない。例えばアマゾナス県の人口密度は0.62人、バウベス県は0.71人というように、アマゾン地域全体でも2.49人で、非常に過疎の地域である。人種的には白人とメスティソが55%、先住民が42%を占めている。ちなみに黒人系は3%。先住民の割合が多いこの地域で、資料によって差があるものの、人口比は別にしても、先住民の種族が全地域に数多く暮らしているのは事実である。

コロンビア全体で約100種族の先住民が存在するのだが、アマゾン地域だけで約60種族が暮らしている。その先住民共同体(先住民の村)を「保護地区」と呼ぶ。現在はアマゾン地域には162の地区がある⁽⁶⁾。

5) 先住民 (población indígena)⁽⁷⁾

さて、先住民のテーマが出たので少し寄り道をさせてもらい、今回及び次回でコロンビアの先住民の概略を述べたいと思う。ラテンアメリカ全地域において、コロンビアの先住民は、全人口に対する割合は3.4%(現在は4.4%)と少ないが、人口数で言えば、ペルーに次いで2番目の地位をチリと分け合っており(表参照：2019年

の資料では1.9百万人)、アフリカ系住民と同様に、人類学的にコロンビアを知る意味でも大切だからである。思うにコロンビアの国民性形成において、先住民の存在と役割は外せないのである。

*保護地区での生活

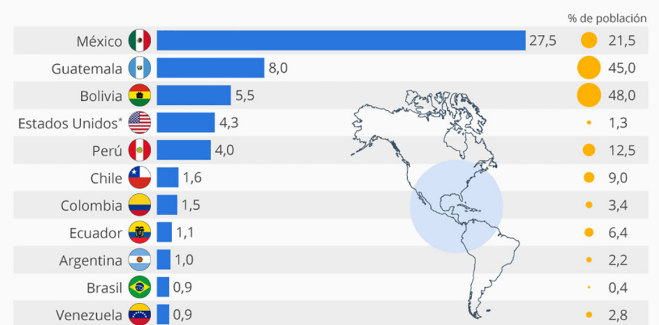
2006年の資料ではコロンビアには全体で710の保護地区があり、それぞれ村落を形成している。その範囲はコロンビア全国に及び、32県の27県に存在し、独自の支配構造(Cabildo)を組織している。その広さを合わせるとおよそ34,000,000ha⁽⁸⁾になり、国の面積の30%を占めるという。彼らはそこで独自の生活を行っている。部族には言語、宗教、食文化、生活様式がある。彼らの生活の基本は「狩猟生活」と「採集生活」である。遊牧民の性格を持った部族も存在するが、それも密林の中で移動するだけで、遠くには移動しない。多くは一定の地域範囲でくらし、野菜や穀物などを栽培している。代表的なものはキャッサバ(タロイモ)、トウモロコシ、豆類、バナナ類など中南米原産の農作物が主であり、栽培しやすい植物が主である。

*先住民の価値観

すでに学術的には周知であるとはいえ、先住民の価値観、すなわち彼らの「信念、信条」というものが、ラテンアメリカをラテンアメリカたらしめ、さらにはコロンビアをコロンビアたらしめていると、私は以前から考えている。よく「ラテンアメリカはヨーロッパか?」ということがテーマになるが、先住民の存在、またスペイン人と先住民の混血(メスティソ)の世界はやはり白人社会と異なるのである。その一部を垣間見た時があった。(次号へ続く)

La población indígena en el continente americano

Cantidad de población indígena en países seleccionados (en millones)



* Promedio estimado
Según los datos disponibles en el informe "The Indigenous World 2019" (IWGIA).
La definición precisa de "indígena" puede variar de un país a otro.
Fuentes: Grupo de Trabajo Internacional para Asuntos Indígenas; Banco Mundial

statista

全アメリカ大陸の先住民人口

<https://es.statista.com/grafico/19589/poblacion-indigena-en-paises-americanos/> より

[参照 URL]

- <https://www.lifeder.com/region-amazonica-colombia/>
- <https://es.climate-data.org/america-del-sur/colombia/amazonas-2364/>
- <https://www.lifeder.com/region-amazonica-colombia/>
- Ibid.
- https://sinchi.org.co/files/Base%20de%20Datos%20Inirida/PDF/01_Densidad%20de%20poblacion.pdf
- <https://opiac.org.co/organizaciones/> (Organización Nacional de los Pueblos Indígenas de la Amazonía Colombiana)
- <https://gestion.pe/mundo/los-paises-con-la-mayor-cantidad-de-poblacion-indigena-de-america-noticia/?ref=gesr> (Gestión Mundo)
- https://caracol.com.co/radio/2006/10/31/economia/1162312680_351359.html (Caracol Radio)